

春 告 草

第159号 令和元年11月6日 進路指導部発行

どうなる今年の大学入試

11月に入り、6年生はセンター試験まで73日となった。来月には受験票も届き、試験会場も判明する。そして年明けからは、私立大の出願手続きも始めなければいけない。何かとせわしない時期だが、ここは落ち着いて勉強に取り組もう。4月に新しいキャンパスを闊歩する自分をイメージして乗り切ってもらいたい。

4年生、5年生は来週に行われる大学模擬授業などとおして、少しずつでも自分の進路について、目標を絞っていかう。そのためにも、最近の大学入試に関する情報は積極的に集めることを心がけよう。

さて、入試改革を控え、大きな変動のない次年度入試だが、志望概況などをチェックしておこう。データはベネッセ7月記述模試の志望に基づく。

系統別志望概況

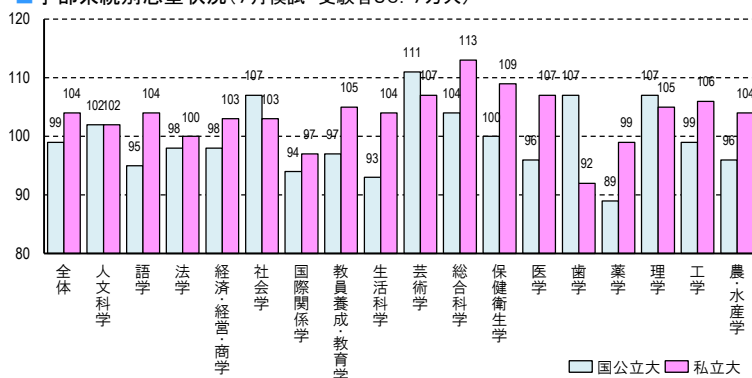
好調な就職状況を受けて、ここ数年は文系に人気が集まり理工系が伸び悩む「文高理低」の傾向が顕著だったが、理工系人気復活する兆しが見えている。AIやIoTなど先端科学技術への関心が高まっていることもあり、情報系を筆頭に理工系が順調に志願者を増やしている状況がある。

まず国公立大では、社会学、理学両系統が対前年指数(以下指数)107で人気を集めている。特に理学系統の中の情報科学系統の指数は137と大幅増で、近年の情報関係の人気を反映している。一方、医学系統、薬学系統では志望者減が目立つ。医学部では臨時定員増の期限終了を受け、入学定員の減少を予定している大学もあるの

で確認しておきたい。

私立大では、総合科学、保健衛生、理学系統などが人気を集めているが、総合科学系統の中の総合情報学系統(指数125)、理学系統の中の情報科学系統(指数107)は国公立大同様に志望者増が目立つ。医学、薬学はそれぞれ増加、前年並みであり、国公立大のような現象は見られない。

■学部系統別志望状況(7月模試 受験者36.7万人)



私立大の志望概況

7月模試における私立大グループ別の志望概況は下表のとおりである。私立難関大では、対前年指数が90前後、これに続く日東駒専レベルは100弱で前年並みだが、日大は91と人気がない。100オーバーは、大東文化、亜細亜、帝京、国士館の大東亜帝国クラスである。英語民間試験が延期になったとは言え、新テストが21年度入試から始まり、高3生にとっては「後がない入試」という印象がある。出願にあたっては安全志向が強く働いてくると思われるが、状況をよく見て計画を立てていきたい。

■大学グループ別の志望者数(7月模試)

	一般			センター利用			合計		
	2018年度	2019年度	対前年	2018年度	2019年度	対前年	2018年度	2019年度	対前年
早慶上智	46,651	42,699	92	2,007	1,836	91	48,658	44,535	92
MARCH	97,939	90,648	93	15,718	12,963	82	113,657	103,611	91
日東駒専	69,039	67,509	98	15,731	13,413	85	84,770	80,922	95
大東亜帝国	35,010	41,286	118	9,211	9,413	103	44,221	50,806	115

■首都圏私立大の志願者数・合格者数・倍率の推移

	2017年度				2018年度				2019年度			
	志願者(人)	合格者(人)	倍率(倍)	合格者増減(人) [対前年]	志願者(人)	合格者(人)	倍率(倍)	合格者増減(人) [対前年]	志願者(人)	合格者(人)	倍率(倍)	合格者増減(人) [対前年]
早稲田大学	114,983	15,927	7.2	-1,614	117,209	14,532	8.1	-1,395	111,338	14,566	7.6	34
慶應義塾大学	44,845	8,978	5.0	-274	43,301	8,817	4.9	-161	41,875	8,797	4.8	-20
上智大学	29,277	6,056	4.8	162	31,181	5,085	6.1	-971	27,916	4,765	5.9	-320
東京理科大学	54,505	17,393	3.1	324	57,747	16,753	3.4	-640	62,159	16,716	3.7	-37
青山学院大学	60,966	8,064	7.6	-1,440	62,905	7,313	8.6	-751	60,404	8,136	7.4	823
学習院大学	18,366	3,995	4.6	-503	20,447	3,527	5.8	-468	19,143	3,756	5.1	229
中央大学	74,029	15,857	4.7	-574	88,182	15,198	5.8	-659	92,686	17,059	5.4	1,861
法政大学	119,206	21,181	5.6	-2,011	122,499	17,548	7.0	3,633	115,447	17,896	6.5	348
明治大学	113,507	22,854	5.0	-1,290	120,279	21,216	5.7	-1,638	111,755	22,040	5.1	824
立教大学	62,655	11,260	5.6	-1,578	71,793	10,452	6.9	-808	68,796	11,218	6.1	766
早慶上理GMARCH				-8,798				-3,858				★4,508
國學院大学	25,018	4,293	5.8	-377	24,757	4,403	5.6	110	29,471	4,011	7.3	-392
成蹊大学	23,481	4,720	5.0	-14	21,162	4,203	5.0	-517	25,034	4,162	6.0	-41
成城大学	16,212	4,890	3.3	90	21,134	3,915	5.4	-975	19,316	3,778	5.1	-137
武蔵大学	17,224	3,598	4.8	-152	18,080	2,651	6.8	-947	18,870	2,940	6.4	289
成成武國				-453				-2,329				-281
駒澤大学	41,666	9,569	4.4	-1,017	44,815	8,550	5.2	-1,019	48,715	7,093	6.9	-1,457
専修大学	44,462	9,892	4.5	-829	45,761	8,437	5.4	-1,455	56,201	8,355	6.7	-82
東洋大学	101,180	24,674	4.1	736	115,441	21,504	5.4	-3,170	122,010	23,868	5.1	2,364
日本大学	112,583	29,333	3.8	-184	115,180	29,370	3.9	37	100,853	28,689	3.5	-681
日東駒専				-1,294				-5,607				★144
津田塾大学	6,144	2,289	2.7	—	5,783	2,009	2.9	-280	6,073	2,004	3.0	-5
東京女子大学	9,194	3,535	2.6	-503	10,795	3,393	3.2	-142	10,424	3,027	3.4	-366
日本女子大学	11,713	4,077	2.9	-474	10,951	3,928	2.8	-149	13,612	4,229	3.2	301
3女子大				-977				-571				-70
獨協大学	19,167	6,157	3.1	-131	23,485	4,885	4.8	-1,272	24,964	5,288	4.7	403
文教大学	19,138	4,401	4.3	-187	17,179	4,428	3.9	27	20,334	3,681	5.5	-747
亜細亜大学	11,682	2,683	4.4	-570	12,257	2,671	4.6	-12	13,462	2,216	6.1	-455
桜美林大学	7,767	3,094	2.5	-13	11,432	3,734	3.1	640	19,375	3,710	5.2	-24
国士館大学	21,913	5,239	4.2	-789	24,607	4,057	6.1	-1,182	21,335	4,261	5.0	204
芝浦工業大学	38,598	10,891	3.5	2,198	41,734	12,479	3.3	1,588	46,505	11,670	4.0	-809
大東文化大学	22,042	5,601	3.9	-1,095	26,786	5,715	4.7	114	25,307	6,002	4.2	287
拓殖大学	11,800	3,453	3.3	7	13,624	2,288	5.7	-1,165	11,532	2,639	4.4	351
玉川大学	9,851	3,182	3.1	-500	10,114	2,658	3.8	-524	10,114	2,174	4.7	-484
帝京大学	29,739	7,786	3.8	-449	34,990	7,654	4.6	-132	38,068	7,329	5.2	-325
東海大学	48,784	12,664	3.9	-400	51,910	11,769	4.4	-895	60,383	12,669	4.8	900
武蔵野大学	17,790	3,969	4.5	149	24,491	4,456	5.5	487	39,293	5,591	7.0	1,135
明治学院大学	25,319	7,130	3.6	-556	29,714	5,430	5.5	-1,700	26,474	4,782	5.5	-648
明星大学	16,007	4,729	3.4	159	18,895	4,174	4.5	-555	23,720	3,729	6.4	-445
目白大学	5,736	3,259	1.8	-309	6,946	2,632	2.6	-627	9,482	2,349	4.0	-283
立正大学	15,724	4,201	3.7	-239	14,349	3,589	4.0	-612	19,230	2,785	6.9	-804
神奈川大学	21,009	6,512	3.2	-12	23,171	6,065	3.8	-447	23,075	5,463	4.2	-602
関東学院大学	10,731	4,284	2.5	-1,236	12,288	4,133	3.0	-151	16,397	4,121	4.0	12
その他私大				-3,973				-6,418				-2,334
総合計	1,454,013	331,670	4.4	-15,495	1,567,374	305,621	5.1	-18,783	1,611,148	307,564	5.2	★1,967

※データは進学路企画「SINRO! No.3」及び各大学WEBサイトによる。津田塾2017年の合格者増減は2016年データが確認できなかった為空欄。

難関私立大合格者数は増加傾向

「入学定員の厳格化」という言葉を聞いたことがあるだろう。都市圏私立大への学生集中を抑制する目的で、定員制限を1名でも多く入学者が出ると助成金をカットするというものだ。数億円単位のペナルティーが発生する強烈なリスクがあるため、各大学は入試合格の判定にとっても慎重になっている。上の表は首都圏私大39大学の合格者数などをまとめたものであるが、17年、18年入試の2年間で約3.5万人もの合格者が減っていたことが分かる。この為、多くの受験生は難関私大受験を取りやめ、中堅大への出願に傾く傾向が強くなっていた。この傾向は今年度入試でも見られ、難関私大への出願を敬遠したケースもあった。しかし、フタを開けてみたら思いのほか志願者数が減り、初志貫徹で第一志望を目指した受験生にとっては受けやすい入試であったことが表の数字からも読み取れる。また、ここ数年減り続けていた合格者がわずかではあるが増加に転じてきていて、合格者の絞り込みは一段落したとみてよいだろう。次に具体的にどの大学群が増えたのかを見ていきたい。

最も大きな特徴は早稲田とGMARCHの全大学で合格者が前年比増となっていることだ。新学部を2つ開設した中央大学は1861名で、明治大学は824名。新学部を1つ開設した青山学院大学は823名、立教も766名、法政348名、学習院229名、早稲田は34名増となっている。過去最高の志願者を集めた東洋大学は2364名も合格者を増やしている。おそらくほとんどの大学が3月になってから繰り上げ合格を出すことで合格者数を調整したと思われる。最も定員越えのリスクが少ない方法として今後も2月試験の合格者の手続き状況をみながら最後に調整する流れは続くだろう。

希望は高く ハートは強く！

今年の入試で大幅に志願者が増えたのは、東洋大、専修大、東海大、駒澤大などの中堅総合私大やこの層よりも偏差値でいえば低い、中小規模の大学である。武蔵野大の増加は学部増設によるものだが、増加の割合は予想を超えるものだ。中間層私大は、もはや昔のように受からないのだ！

難関私大はわずかではあるが、合格者を増やしていて、その傾向は続きそうである。後がない入試で、受験生が安全志向に走る気持ちは分かるが、今年の入試と同じで安全志向の逆張りをしてこそ、チャンスが見えてくるだろう。そうは言っても確証はないし、ワセダが簡単になるわけでもない。4期生も116名が受験し、合格者は32名（延べ人数）である。相応に難しいのも事実だが、ムードの逆をついて、難関大にチャレンジするだけの価値は充分にあるだろう。「希望は高く ハートは強く」若者らしく果敢に挑戦してもらいたい。

入試方式・受験方法を研究しよう

6年生は出願前、5年生も来年度の科目選択本調査の直前である。今一度、いろいろな方式のある私立大入試を研究しておこう。

多様化・複線化した私大の試験方式でダブルチャンスを活かせ！

センター試験や共通一次の無かった頃、国立大の入試は一回の試験で合否が決まった。受験機会は国立一校・公立大と国立二期校の2回あったが、一校一本に絞った受験生も少なからずいた。私立大も学部・学科別の試験のみで、志望大にどうしても入りたいという時は、学部を変えての併願が余儀無くされた時代だった。

今は希望する学部・学科に挑戦するチャンスはダブルどころか、三度、四度とある。大学側からすれば受験料収入が見込める経営事情もあるのだろうが、併願すると受験料を割り引く大学もあり、受験生にとっては有難いシステムである。

■早慶上理・MARCH 各入試方式の実施状況

	学部別 日程入試	グローバル 方式入試	センター 利用入試	全学部 統一入試	学外 試験会場
早稲田大	○	○	○		
慶應義塾大	○				
上智大	○	○		○	
東京理科大	○	○	○		○
明治大	○	○	○	○	○
青山学院大	○		○	○	○
立教大	○	○	○	○	
中央大	○	○	○	○	○
法政大	○	○	○	○	○

●学部別日程入試（一般入試）

募集単位ごとに行う個別試験方式。大学受験の際の基本。出題傾向に合わせた過去問研究は欠かせない。

●グローバル方式

英語4技能テスト利用型、英語外部検定利用型などの名称もあるが、英語の資格・検定のスコアなどを選抜に利用する方式。資格やスコアに基準を定め、これ以上を出願要件とした「出願基準」や、資格やスコアを点数化し、他の得点と合わせて合否を評価する「得点換算」などの利用方法がある。学部別日程入試の英語に代用するケースやこれとは別の日程で実施するケースなどもあり、大学により異なる。個別に調べる必要がある。

メリットはここ！

- 得点換算の場合は、確実に英語の得点が見込める
- 加点、判定優遇・合否参考の場合もマイナス要素には働かない
- 資格取得に向けての学習は、英語の学力アップにもつながる

●センター試験利用入試

センター試験の得点を合否判定に用いる「センター試験利用入試」は、多くの私立大が実施している。センター1回の受験で複数の大学・学部に出願でき、個別の対策も不要、受験料も割安でメリットは大きい。3教科型が主流だが、国公立大志望の受験生狙いで4～6教科を指定している大学も多い。また、一部の教科・科目を個別試験で行うセンター併用型を実施する大学もある。

新テストになっても、この方式は引き続き実施されるが、大学毎に継続、廃止、新規実施と分かれる。5年生以下は、今のうちから調べておこう。

●全学部統一入試

一括入試、統一入試などの名称もあるが、複数の学部が同日に共通の問題を使って行う入試方式。複数の学部・学科の併願の可否は大学によって様々である。学部別日程と全学部日程で同じ学部・学科を受験することもできるし、一方を受験することで他大学との日程の重複を回避するといった利用の仕方もある。

●学外試験会場

地方大学を受験する場合、地元で受験できるメリットは大きい。長距離移動の時間や体力面、費用面(交通費、宿泊費)での負担を軽減でき、何よりも受験日程にも余裕が生まれる。一部国公立大でも行っている。

●試験日自由選択制

同じ条件の入試が何日もあり、その中から都合の良い試験日を自由に選んで受験できる入試方式。本格的な受験シーズンの期間には多くの大学の試験日が集中するが、この方式を利用すれば、併願校どうしの試験日の重複を回避することができる。また本命校が実施していれば、すべての試験日に受験する手もある。一般的には、2～3日の連続する試験日が設けられる。

■グローバル方式入試の一例

次年度入試でグローバル方式入試(英語外部検定利用入試など)を実施する大学・学部の一例を掲載した。詳細は募集要項などで確認しよう。

大学名	入試方式 日程等	利用方法	英検	英検 CSE	TEAP	TEAP CBT	GTEC CBT	その他	備考
上智大(外-英語)	TEAP利用型	出願資格			300	525			R70 L70 W70 S70 国、(地公・数)で選抜
早稲田(国際教養)	一般	加点15	1級					○	○→TOEFL®iBT 国、外、(地公・数)の試験を実施 最大で15 点を加点
		加点10	準1級					○	
		加点5	2級					○	
明治大(経営)	全学部統一	得点換算150	準1級		309		1166	○	級・スコアに応じて、英語(配点150)の得点として換算。 得点換算120点と135点の「英検」は、2級合格かつ CSEスコアが必要。英語の試験を受験した場合は、その 得点と、換算された得点の高得点の方を利用。
		得点換算135	2級	2088	253		973	○	
		得点換算120	2級	1980	225		880	○	
青山学院大(英米文)	一般C方式	出願資格 & 得点換算			280 (RLWS&65)				TEAPのスコアを外国語の得点として利用 (満点400点を200点に換算)
千葉大(理-物理)	前期	加点10		2300	309	600	1190	○	スコアに応じて、個別試験の外国語の得点に 加点(満点が上限)
		加点5		2180	280	540	1120	○	
東京理科大(全)	グローバル方式	出願資格 & 加点20	準1級		120(RL)or 334(RLWS)		1100	○	◎ 出願資格: 左記の加点0の行の級・スコア以上 の成績を満たしていること ◎ 加点: 級・スコアに応じて、独自試験の得点 に換算
		出願資格 & 加点10	2級		105(RL)or 226(RLWS)		970	○	
		出願資格 & 加点0	準2級		90(RL)or 150(RLWS)		860	○	
中央大(国際経営)	英語外部検定試験利用	出願資格 & 得点換算		1980	225	420	960	○	左記は出願資格の基準。スコアの高低に応じて得点(配点 200)に換算し、国語の得点(配点100)との合計で合否 判定する。得点換算の詳細は非公表。英検CBTも可

メリットはここ!

- センター試験1回の受験で、複数の大学へ出願できる
- 個別試験対策の手間が省け、受験対策の効率上がる
- 試験会場まで出かける必要がない

メリットはここ!

- 学部別日程+全学部日程で、同じ学部を2回受験できる
- 他大学との試験日の重複を回避する目的で利用できる
- 大学によっては、一度の受験で複数の学部・学科を併願可能

メリットはここ!

- 長距離移動にかかる時間や体力・費用面の負担を軽減
- 移動日がなくなるなど、受験日程に余裕が生まれる
- 地元受験でリラックスして受験できる

メリットはここ!

- 受験する日を複数の試験日から都合に合わせて選択できる
- 他大学との試験日の重複を回避する目的で利用できる
- すべての試験日に出席して確実に合格を拾う作戦も可能